

令和 7（2025）年度関西医科大学大学院看護学研究科

博士前期課程

入学試験問題 冬期

専門科目（看護学教育）

問題 1 学習意欲は学習者が学び続けるための原動力となり得る。学習意欲を高める技法として知られている内発的動機づけと外発的動機づけについて次の問いに答えなさい。

- 1) 内発的動機づけと外発的動機づけについて、それぞれどのようなものを例を挙げながら説明しなさい。
- 2) 内発的動機づけと外発的動機づけの特徴を生かした学習支援について説明しなさい。

問題 2 成人教育について次の問いに答えなさい。

- 1) 成人教育の概念であるアンドラゴジーとは何かを概説しなさい。
- 2) 糖尿病の成人男性糖尿病患者に食事指導を行う。次の患者情報を読み、アンドラゴジーを踏まえた教育方法について具体的に述べなさい。

患者情報：50 代男性。会社の検診で高血糖を指摘され、外来で看護師による指導を希望された。営業担当で外食が多く、仕事上での宴席に参加する機会も多い。休肝日は週に 1～2 回。妻と二人暮らしで子供はいない。妻はパート勤務。学生時代には野球をしていたが、社会人になってからはほとんど運動はしていない。身長 168cm、体重 75kg。

問題 3 教育評価の方法のひとつであるルーブリックについて次の問いに答えなさい。

- 1) ルーブリックとは何か、構成要素を取り上げながら説明しなさい。
- 2) ルーブリックによる評価のメリットと考えられることを述べなさい。

問題 4 臨床看護教育者（CNE）とは、看護実践の場において優れた教育的機能を発揮することが出来る教育者を意味します。CNE に求められている優れた教育的機能について述べなさい。

令和7年度(2025) 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 冬期 専門科目(看護学教育)
出題の意図および解答例

問題 1

1)

【出題の意図】

学習者の学習意欲に関わる理解を問う。動機づけの理論的知識を評価する。

【解答例】

外発的動機づけとは報酬の獲得や罰の回避など、外的刺激をうけて意欲を向上させることを指す。学習に自律性を伴っていくと、“面白さゆえに学び続けたい”と自己の価値観に基づく意欲へ変容する。内発的動機づけは、賞罰に依存しない動機づけである。“一人前の看護師になりたい”など、学習そのものが目的となっており、自分自身の内的報酬により動機づけられている。

2)

【出題の意図】

理論に基づいた学習支援について問う。理論の活用に関する知識と思考力、判断力を評価する。

【解答例】

外発的動機づけが必要な段階では、学習の価値が見い出されるよう支援する。内発的動機づけの段階では、学習者の目的や目標、意欲の状態を理解して関わる必要がある。

問題 2

1)

【出題の意図】

成人の特性を生かした学習支援理論に関する理解を問う。理論的知識を評価する。

【解答例】

アンドラゴジーは成人の学習支援理論である。自己主導型学習を基本とし、社会的役割や発達課題から生じる学習レディネスをもとに学習者が持つ経験を活用し、課題達成型のテーマに焦点を当て学習の方向付けを行う。

2)

【出題の意図】

事例に基づく教育方法について問う。理論活用に関する知識と思考力、判断力を評価する。

【解答例】

自律的・自己決定的な部分を承認・賞賛する。過去の経験から課題解決への動機を理解し活用できる資源を情報提供する。対象の価値観・信念を理解し学習の準備状態を見極め目標形成と計画を支援する。

問題 3

1)

【出題の意図】

教育評価に関わる理解を問う。評価ツールの知識を評価する。

【解答例】

目標に準拠した評価のための基準が示された評価ツールである。観察可能な作品やパフォーマンス課題を評価することを目的に、複数の観点で特徴を提示した評価基準について段階的に表す区分（尺度／記述語）を用いて評価する。

2)

【出題の意図】

評価のメリットについての理解を問う。評価ツールの活用に関する知識を評価する。

【解答例】

複数の評価者による評価の標準化が図られる。思考力、判断力、表現力を評価できる。学習の枠組みによって多様な場面で用いることが可能である。個人内評価が可能である。学習者と共有し形成的評価に活用できる。

問題 4

【出題の意図】

本コースの中心概念である CNE の理解を問う。CNE に関する知識を評価する。

【解答例】

実践の場における教育プログラムの企画・実施・評価を行う。現任教育の実践とコーディネートを行う。看護基礎教育を教員と協働しながら実践、コーディネートする。実践の場における教育研究を行う。